

# 令和5年度 県民と宮城県議会議員との意見交換会 報告書

## ■ 概要

### 1 実施日時

令和5年8月31日（木）午後1時30分から午後3時30分まで

### 2 場 所

宮城県議会庁舎 1階ラウンジ

### 3 参加者

- 一般参加者 12人
  - 企画広報委員会委員 8人
- （※このほか、議長、傍聴議員1人が参加）

### 4 日 程

- (1) 開会行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13:30～
- イ 開会
  - ロ 企画広報委員長挨拶
  - ハ 議長挨拶
  - ニ 出席者紹介（副委員長：議長、企画広報委員）
- (2) 意見交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13:40～
- イ 議会の仕組み
  - ロ 参加者グループディスカッション  
テーマ「宮城県議会・議員に期待すること」
  - ハ 各グループ代表委員による意見紹介
- (3) 閉会行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15:15～
- イ 記念撮影
  - ロ 副委員長挨拶
  - ハ 記念品贈呈
  - ニ 閉会 ※アンケート記入

## ■ 意見交換

### 1 意見交換の概要

1階ラウンジにおいて、「宮城県議会・議員に期待すること」をテーマとし、参加者12人が4グループに分かれ、企画広報委員と意見交換を行った。

### 2 参加者の主な意見

#### (1) 宮城県議会について

- ・ 県民により開かれた議会にしていく上でも、議会日程や質問者をなるべく早く公表してほしい。それにより地元議員に限らず、傍聴しに行きたいと思えるようになるのではないか。
- ・ これまで、様々なアンケートに回答し、意見交換会で意見を出してきたが、それがどのように検討され、少しでも変わっているのか。そういった部分を発信してほしい。
- ・ 宮城県議会のホームページで議案を探してもなかなかたどり着かない、見つからない。最終的には県のホームページで見つかるということがある。他県の場合は、県と県議会のそれぞれのホームページにリンクが貼られていて、どちらからでもたどり着ける。宮城県と宮城県議会でもそうなるよう努力してほしい。
- ・ 意見書が出された場合には真摯に向き合ってほしい。
- ・ 投票率の向上について、抜本的改革を図るため、マイナポイントを付与する等といった取組や対策を県議会ですっかり議論してほしい。
- ・ 議会広報は非常に重要である。議会が終わったら速やかに会議録を公表してほしい。
- ・ 宮城県議会だよりは、紙面に限界があるのですべてを網羅することはできず、議決した議案の内容を知ることができない。そこで、可決した全ての議案がどのような内容であるのかわかるように県議会のホームページを工夫する等、更なる議会広報の充実に努めてほしい。
- ・ 多くの地域課題を解決するとともに、地域だけではなく温暖化の課題などの広い課題についても、各党派間でしっかり合意して、住民の意見をより吸い上げ、実現できるような県議会であってほしい。
- ・ 地域の団体の意見を聞いてほしい。
- ・ 低投票率をしっかりと解消してほしい。
- ・ 二代表制の中で、議会がチェック機能を果たしながら政策実現していくことが大事である。
- ・ 18歳から投票権を得るにもかかわらず、若者の意見や考えが、今の政治に全く反映されていない。もっと県政、県議会が身近に感じるように取り組んでほしい。
- ・ 議会として県民に具体的なメッセージの発信をしてほしい。
- ・ 各世代に合わせた県政のあり方、議会の活動などもしっかり発信してほしい。

## (2) 宮城県議会議員について

- ・事務局職員を含め、議員を「〇〇先生」と呼ぶことや、議場で議長から指名された際に「●番 〇〇君」という発言に対して違和感がある。変えるべきではないか。
- ・県議会議員には、それぞれの選挙区に拘わらず、全県を視野に入れた活動を期待したい。
- ・国においては時代に合った様々な法改正がなされているが、それを実際に運用する県や市町村の職員に浸透しておらず困っている。そういったことを手助けするような議員の役目を担ってほしい。
- ・議員が何をしたいのかわからないと期待のしようがない。議員がそれぞれの地域や宮城県全体の課題に対する自分の考えを県民に発信してほしい。
- ・議員の考え方や政策を、公約として県民に広く周知できる機会が選挙である。県政の課題について、考えや政策をより具体的に発信してほしい。
- ・そもそもその地域の代表となる県議会議員が誰かわからない。特に若い世代は、テレビもあまり見ない中で、若者向けの情報発信をしてほしい。

## (3) 県民と宮城県議会議員との意見交換会について

- ・県政に対しての意見を持っている県民や、アイデアを持っている県民は多い。もっと県民との意見交換を活発にしていきながら、議会として民意を踏まえた議論をしてほしい。
- ・県議会庁舎に入ってくるのも壁が高い。垣根を低くしながら、県民との意見交換をしてほしい。岩手県では年4回実施している。意見を聞く場を多く設けて幅広く意見を聞いてほしい。
- ・議員に相談したくても、身近に議員がおらず困っていて、意見交換会に参加した。
- ・今回のテーマが抽象的すぎる。具体的なテーマを選んでいただきたい。
- ・企画広報委員会の委員だけでなく、地元選出の議員やほかの議員との意見交換ができると良い。また、意見交換会の回数を増やしてほしい。
- ・今回のような意見交換会を地域の施設で開催すれば、より幅広い意見が聞けるのではないか。

## ■ 意見の取扱い

県議会内で共有し、今後の議会活動に生かしていく。



